

2015年度 第44回 いしかわインテリアデザイン大賞 「大賞」

物件名	輪島キリコ会館 プロモーション・展示計画		
	所在地	輪島市	
設計者	Team Wajima		
	TEL		URL



別添

輪島マリンタウンに新築移転された『輪島キリコ会館』には、毎年8月に行われる
[輪島大祭] で現在も使用されている5m級のキリコ20基以上をはじめ、
高さ15mにもなる大キリコ6基などが保存展示されており、大きく湾曲した建築に合わせ、奥へ進むほどに姿をあらわす空間となっています。

最新のLEDシステムと連動したキリコは、昼・夕刻・夜などのシーンを演出し、祭の臨場感が味わえる展示となっており、1階から2階に設けられた回遊スロープと空中回廊により、今までは見上げるしかなかったキリコをあらゆる高さから見る事が可能となりました。

キリコの上部には輪島市内でキリコを所有する町内名の提灯も設置され、
周りのR壁にはキリコ祭を愛する能登人たちの生き生きとした写真をグラフィックで表現しており、能登人たちがキリコを大切な宝としている姿を見る事ができます。

2階に設置された縦型のスクリーンに映し出されるキリコ祭の映像と、実物の大キリコを同時に見る事ができ、3階へ上がると、地上20m近くの吹抜けに設置された輪島大祭で実際に使用される大松明の笠の部分の間近で見ることができます。

吹抜け部分の1階フロアーには大松明を囲む様にショップが構成されており、
今回デザインした[公式ロゴマーク]と共に開発されたオリジナルの商品や奥能登の特産品等が販売されています。

キリコには謎が多く、始まりがいつ頃かも定かではありません。

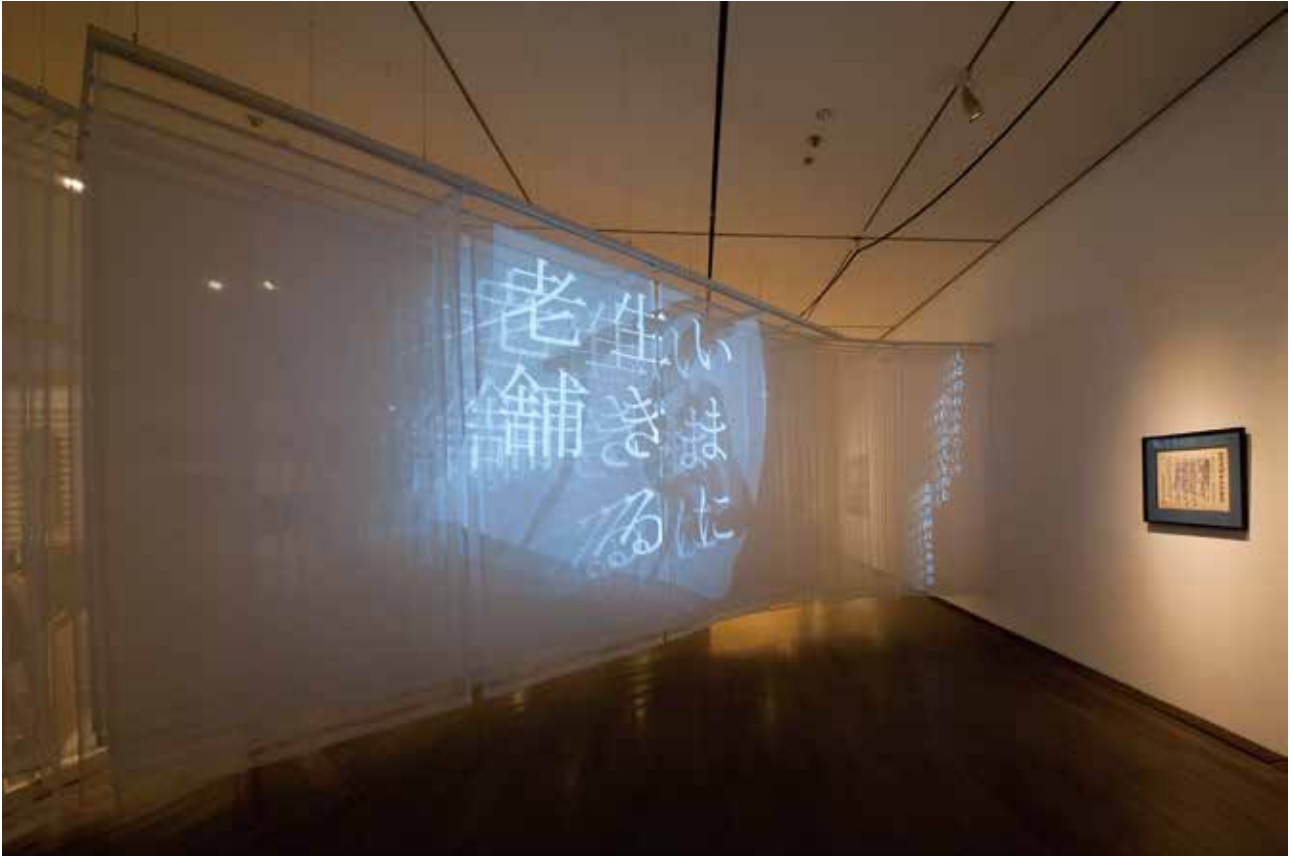
奥能登には大小800基以上が今も保有され180地区の祭りで姿が見られます。

2015年4月に『キリコ祭り』は日本遺産に認定されました。

多くの方が、輪島キリコ会館で祭の臨場感を感じて頂き、奥能登へキリコ祭を見に訪れて頂ければ幸いです。

2015年度 第44回 いしかわインテリアデザイン大賞 「石川県知事賞」

物件名	金澤老舗百年展いまに生きる老舗		
	所在地	金沢市	
設計者	ナカダ(株)デザイン室 ナカダ(株)		
	TEL		URL



別添

「過去からいま、そして未来へ」

創業 100 年以上の企業が集まる金澤老舗百年會。

どの時代も「いま」を生き抜いてきた歴史と心意気がある。

過去を見つめ、未来に目を向けた老舗企業のように

「過去、いま、未来」の時の流れを意識した会場構成とした。

会場入口では、未来を思わせる光の暖簾で来場者をお迎えする。

タイムトンネルをくぐり抜けると、いまに受け継がれる商売道具や、

老舗の心意気を会場いっぱいに体感できる。

2015年度 第44回 いしかわインテリアデザイン大賞 「金沢市長賞」

物件名	山代温泉ホテルききょう「くろの湯・しろの湯」		
	所在地	加賀市	
設計者	谷重義行+建築像景研究室 谷重義行・北陸ミサワホーム(株)ホームイング事業部 佐藤千加士 谷重義行+建築像景研究室		
	TEL		URL



別添

ホテルきぎょうの古い大浴場を改修した作品です。1階 2階共に限られたスペースの中に外湯を新しく設けること 1階と2階を明と暗の対比によって違いを出し 朝と夕で男女を入れ替えて楽しむことがオーナーからの要望でした。内湯と外湯を形態と素材の面で統一し 内・外をひとつの広い空間に見せることを提案しました。さらに仕上げ材に「力強さと優しさ」の質的に異なる素材を選択し 明と暗の対比をより印象強く見せることを提案しました。1階：黒御影石 黒石調タイル 黒染の杉板 2階：白茶三分石の洗い出し 珪藻土 桧の白木板 といった手仕事の跡が残る素材を選択しています。完成した1階大浴場は『くろの湯』 2階大浴場は『しろの湯』と名付けられました。新幹線開通に伴う集客を期待する中 『くろの湯・しろの湯』は山代の湯をシンプルにかつ深く 味わいくつろぐ空間となり 宿泊の思い出のひとつとなっています。

形態・素材・水面をベースとし 自然光の差し込みによって生まれる 空間と人との共感 が強く意識されています。